

部屋いっぱい 荘厳な響き

～喜多流謡曲サークル～

「謡曲」と言うと、ちよっと堅苦しくなじみが薄い感じがしますが、結婚式での祝いの謡(うたい)など、耳にする機会は案外多いようです。のどとけを押し下げた



謡曲サークルのみなさん

あの独特の響きには、一種特有の荘厳な響きがあります。そんな魅力に興味を持った方の集まりが「喜多流謡曲サークル」です。会員は十二名(うち女性三名)で、第一・二・三木曜日に中央公民館で行っています。会員の方はやはり壮年を過ぎたいろいろな肩書きを持った方が多いようですが、みなさん趣味とはいえず真剣なまなざしで練習されています。祝いの席で役立ち、趣味としてひとりでもできる味わい深い謡曲。また正しい日本語の発音も身につけ、さらに健康にも良いとの良い事ずくめ。

カラオケで歌謡曲も結構ですが、日本の古典芸能「謡曲」でひと謡いしてみたいいかがですか。会員の方のひと言

○祝事のために始めたが、健康にも良く、練習を重ねるたびに謡曲の味わいが少しかつてきた気がします。

(大埔 浜田さん)

○国語の教師という職業柄、室町時代の物語に非常に興味を持っていますので始めた。音痴でもできるし、最もナウイ趣味ではないか。

(大埔 森さん)

○多くの方と交流し豊かな余生を送るため、また自分を高めるためにとやっています。

(前浜 久万さん)

○父が趣味でやっていたせいか、小さい時から興味を持って始めました。

(大埔 高木さん)

○「高砂や」という祝いの謡だけと思つたらいろいろあつて最初のおもむくと違つた。でも体の調子も良いし、精神衛生上もいんじゃないですか。

(大埔 沢本さん)

健康で明るく 願いをこめて

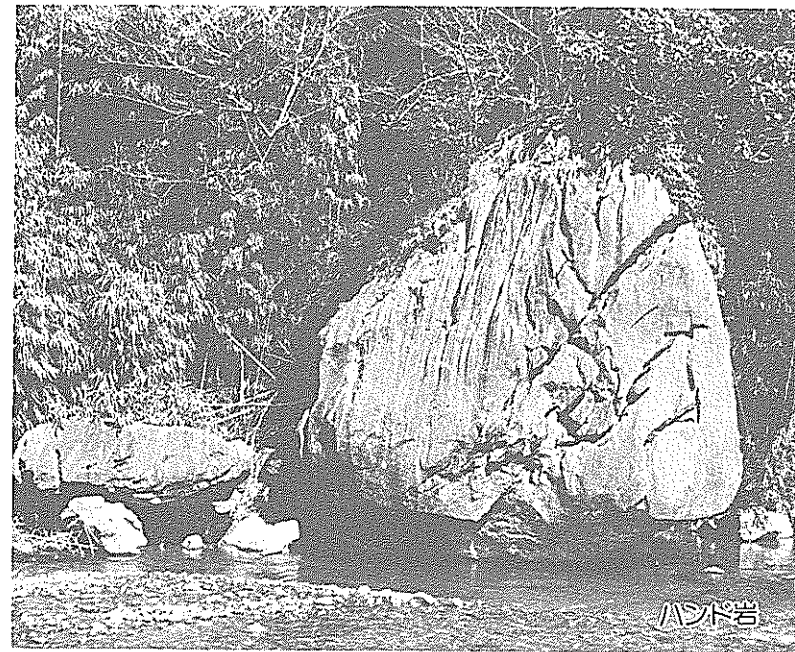
――南子連キヤラバン隊――

二月二十三日午後三時、岡豊小の児童が待ちわびた南子連キヤラバン隊がやってきました。今年で十二回目になるこのキヤラバン隊は「子どもたちが健康で明るく」との願いを込めて活動している南国市子ども会連合会が毎年、市内の小学校を二つのコースに分かれて訪問しているものです。まず、子ども会の四つの目標
○育てよう物を大切にすること
○考えようよい悪い事
○いつでもどこでもあいさつをしよう
○友だちを大切にしよう
を大合唱して、楽しみの人形劇に入りました。今年の出し物は「天助の願い」。おじいさん天助が村人にいじめられ、その仕返しのために修業を積んだ孫の天助君が山を下りて行きます。しかし村の子どものたちとの融合の中で、人間のやさしさに触れ、村人を苦しめる悪い庄屋を追い払うというお話。非行は環境からと言われますが、子ども会という地域ぐるみのまとまりは、子どもたちの健全な育成に大きな役割を持ち、これからの活躍が期待されます。



人形劇を見ている子どもたち(岡豊小で)

文化財をたずねて④ 《ハンド岩》



瓶岩川の左岸を少しはいた、西の川の雑木林の中に、小祠がたつており、木花開耶姫が祀られ、安産の神として、また酒の神とし

て名高かった。この神は、瓶岩川の左岸近くに、大きな瓶を置き、清らかな流れの水をつかつて、好きなお酒を造つ

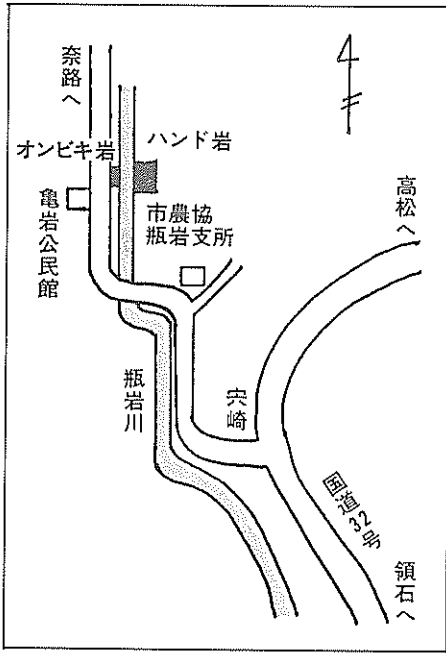


オンビキ岩

ていた。ところが、味覚をそる香りがたまたまはじめと、お酒がすっかりなくなる。いくら造つても造つても、なくなるのであつた。不思議に思つて調べると、川の右岸近くに、とほうもない大きなクツヒキ(ヒキガエルの異称)が

住んでおり、お酒ができるのを待つて、飲んでしまふのであつた。この立腹になった神さまは、この瓶をさかさに伏せて、介良の土地へ移つてしまった。これが式内社として名高い朝奉神社であるという。さて瓶岩川にさかさに伏せた酒瓶は、今もなお昔のままに残り、村の人は、瓶岩の「ハンド岩」と呼んでいる。そのすぐ向いの右岸には、クツヒキに似たオンビキ岩がある。百日後にかつた時、その岩にお願いをかけ、片足の草履を供えると、たちまち治るといわれる。そしてお礼詣りには、残りの片足を供えるのである。

【交通】市役所から車で二十分ほどかかる。



市民憲章

わたしたちの郷土南国市は、土佐文化の発祥地、そしてまた、清新な生産都市であります。この誇りのうえにたち、さらに一大飛躍発展をとげるために、次の信条を守りましょう。

- ☆文化財と自然を保護し、新しい文化のかおり高い歴史のまちを築きましょう。
- ☆青い空、青い海、緑の山野、そして豊かな太陽のふりそそぐ、健康で明るいまちにいたしましょう。
- ☆川は市民の顔、清くて豊かな流れをつくりましょう。
- ☆第三日曜日は家庭の日、全戸笑顔で子供を守り育てましょう。
- ☆老人は市民の宝、小さい親切運動と福祉の豊かなまちにいたしましょう。
- ☆三悪を追放し、交通事故のない住みよいまちにいたしましょう。